

自転車事故、階下への水漏れ、子どもが高価な商品を壊した……。日々の暮らしの中で、思わぬ形で人にけがをさせたり、物を壊してしまったりすることがあるかもしれない。そんな時に「個人賠償責任保険」に入っていれば、保険金で相手方に与えた損害を賠償することができる。主な補償例や加入時の注意点をまとめた。

個人賠償責任保険は日常生活で生じた事故で他人を死傷させたり、所有物に損害を与えたりして法律上の損害賠償責任を負った時に、賠償金などに相当する保険金がおろる。「日常生活賠償責任保険」と呼ばれることもある。ファイナンシャルプランナー(FP)の清水香さんは「家計の安心を確保するためにも入っておいた方がいい保険」と話す。

### 特約加入が一般的

表Aに主な事故の例をまとめた。分譲マンションでの水漏れ事故などは長く近所付き合いをする間柄での事故だけに、保険金があれば迅速に賠償を済ませることができ。また幼い子どもがいる家庭では、物を壊す、友達にけがをさせるなどといった事故の心配も尽きないだろう。

過失による事故は補償対象だが、故意に起こした事故は対象外となる。通勤途中の事故はカバーされるが、仕事での事故はカバーされない。

「被害者の死亡や重い後遺症のケースでは5千万円を超える高額賠償を命じる

## 知ってます？ 個人賠償責任保険

### 自転車事故・けがさせた・物損…

# 過失が補償対象

判決も珍しくない」（交通問題に詳しい弁護士の高山俊吉さん）のが自転車事故。性能の改善や利用台数の増加などで、自転車事故は急増している。けがや物損には至らなくても、自転車、歩行者双方の立場で危険な目に遭った経験がある人も

多いだろう。自転車には自動車やバイクの「自賠責保険」のような公的な強制保険がない。高山さんは保険に未加入だったばかりに、子どもが起こした事故の賠償金捻出のために自宅売却に追い込まれた事例や、加害者側に支

#### B. 加入の方法

**原則、単独での加入はできない**

- 自動車保険
- 火災保険
- 傷害保険

いずれかの特約として加入する。既に加入しているが、気付いていない場合も

**保険の対象者が広いのも特徴**

- 契約者
- 同居の親族
- 配偶者
- 別居の未婚の子

#### C. 加入時のチェックポイント

- 1 保険金額は最大額で加入する。1億円でも保険料は年1000~2000円程度
- 2 示談交渉代行サービスが付いているか
- 3 重複契約になっていないか。複数契約で補償額が増えるわけではない
- 4 自動車の売却や引越など保険が途切れていないか
- 5 海外で賠償責任を負った場合も補償されるか

#### A. 個人賠償責任保険で補償される主な例

- マンションで階下に水漏れを起こした
- 自転車で人をはねた
- 買い物先の店で高価な商品を壊した
- 子どもが友達にけがをさせた。人の車にキズをつけた
- 飼い犬が通行人にかみついた



#### 逆に補償されないのは…

- 仕事中に起きた賠償事故
- 闘争行為
- 車両の所有、使用、管理によって発生した事故
- 同居の親族に対する損害賠償
- 他人から借りた物を壊した場合の賠償事故



## 同居親族・別居学生もカバー 年1000~2000円で1億円

加入時のチェックポイントは表Cの通り。特約の保険料は最大保険金額1億円または無制限で年1千~2千円程度で済む(①)。FPの平野敦之さんは「保険金額5千万円と1億円で保険料の差は1カ月あたり数十円。高額賠償に備え、最大額で加入すること」を勧

### 重複契約に注意

払い能力がなく、被害者側が泣き寝入りせざるを得なかった事例を何件も目にした。個人賠償責任保険は契約者本人だけでなく、配偶者や同居の親族、一人暮らしの学生など生計を同じくする別居の未婚の子もカバーする。「本人が家族が保険に入らざるを得ない場合は、このような事態は当然防げた」と振り返る。

表Bに個人賠償責任保険の加入方法をまとめた。以前は単独での加入ができたが、現在は損害保険会社の販売する「自動車保険」「火災保険」「傷害保険」のいずれかに加入したうえで、特約として上乘せ加入するのが一般的だ。大手共済ではコップ共済連が手掛けているほか、JCBなど一部のクレジットカード会社は、希望する会員向けに個人賠償責任保険を取り扱っている。

重復契約になっていないかも注意が必要だ(③)。二重に加入していても、実際の賠償額以上の支払いは受けられないからだ。「そもそもも加入していることを認識していない人も多い」(清水さん)。手元の保険証券で、特約加入の記載があるか確認してみよう。

ちなみに、不動産業者指定の火災保険に加入することが多い賃貸住まいの場合「個人賠償責任特約がセットになっているのが一般的」(清水さん)だという。

自動車の売却や引越しなどで保険が途切れていないかも気を付けたい(④)。自動車保険の特約として個人賠償責任保険に加入している場合、自動車保険を解約すれば特約も消滅する。この場合は「火災保険で中途加入するなど空白期間をつくらないようにしたい」(平野さん)。

海外で起こした事故で負った損害賠償責任も補償されるかどうかは、会社や商品によって異なる(⑤)。東京海上日動火災保険の場合、自動車保険や火災保険の特約であれば海外の事故にも対応するが、傷害保険では対応していない。対応していない場合は海外旅行保険の活用を検討しよう。(佐野彰洋)

示談交渉代行サービス付きならば、損保会社の担当者や過失割合や賠償額などを契約者に代わって被害者側と交渉してくれる(②)。自動車保険に上乘せして加入すると付いていることが多い。「必須ではないが、あればより安心」(平野さん)程度に考えておけばいいだろう。

重復契約になっていないかも注意が必要だ(③)。二重に加入していても、実際の賠償額以上の支払いは受けられないからだ。「そもそもも加入していることを認識していない人も多い」(清水さん)。手元の保険証券で、特約加入の記載があるか確認してみよう。

ちなみに、不動産業者指定の火災保険に加入することが多い賃貸住まいの場合「個人賠償責任特約がセットになっているのが一般的」(清水さん)だという。

自動車の売却や引越しなどで保険が途切れていないかも気を付けたい(④)。自動車保険の特約として個人賠償責任保険に加入している場合、自動車保険を解約すれば特約も消滅する。この場合は「火災保険で中途加入するなど空白期間をつくらないようにしたい」(平野さん)。

海外で起こした事故で負った損害賠償責任も補償されるかどうかは、会社や商品によって異なる(⑤)。東京海上日動火災保険の場合、自動車保険や火災保険の特約であれば海外の事故にも対応するが、傷害保険では対応していない。対応していない場合は海外旅行保険の活用を検討しよう。(佐野彰洋)

おせいな